

医療施設で写真展、ワークショップ

「ホスピタルアート」知って

医療施設内にアートを取り入れる「ホスピタルアート」に取り組む静岡文化芸術大(浜松市中区)の学生と教員の団体「ホスピタルアートプロジェクトしずおか」の初の活動展が29日まで、同大ギャラリーで開かれている。

静岡文化芸術大生ら活動展

同団体は浜松労災病院(東区)で写真展や自助員のアイデア展を開いたり、県立子ども病院(静岡市葵区)で入院する子どもたち向けにワークショップを行い、制作物を展示したりしている。活動展では、始まった2015年からの取り組み内容やこれまでの展示作品を紹介。

今年3月にこども病院に展示したのは、子どもたちが木や布、発泡スチロールなどを使って自由に表現した「まち」。創造性あふれる作品が来場者の目を引いている。同団体には現在、1学年約20人が所属。代表の下川原季音さん(芸術化学科3年)は「ホ

スピタルアートについて知ってもらう機会になれば

ば」と話している。

入場無料。開催は午前10時〜午後6時。

(浜松総局・市川淳一朗)

病院に展示した子どもたちの作品などを紹介した活動展は、浜松市中区の静岡文化芸術大

